国・県への予算要望ヒアリング

政策部はこの間、国政・県政の次年度予算要望に向けて、国会議員や各党会派の県議団と懇談。以下の項目を要求している。

国政へ：❶医療用資材供給不足、医院経営に対する財政支援、❷歯科用局所麻酔薬不足など医薬品供給不足解消、❸一部保険外療養の実施凍結、❹高額療養費の上限額の引き上げ中止、❺健康保険証の復活、❻オンライン診療受診施設の厳格な運用、❼長期収載品の選定療養中止、❽後期高齢者の保険料、窓口負担の引き下げ―以上８点を求めた。

また、県政へ：①医療用資材供給不足への財政支援等、②医院経営対策、③歯科用局所麻酔薬不足など医薬品供給不足解消、④一部保険外療養と高額療養費の上限額の引き上げの凍結、⑤健康保険証の継続・復活等、⑥後期高齢者保険料引き下げ等―以上６点を求めた。

国政・県政

物価高騰対策訴え 紹介手数料是正へ意見書

自由民主党

7月16日、自民党神奈川県支部連合会と県庁で懇談。県議団から高橋・栁・敷田・原・神倉・川崎・武田・田中・小林各議員など合計24名が出席した。協会からは二村副理事長、藤田理事が出席し、▽医療用資材の供給不足や物価高騰対策、▽医療機関への財政支援ーなど県政6点と、▽オンライン診療受診施設の厳格な運用ーなど国政8点を求めた。

医療資材の不足状況や、GーMISへの登録状況、局所麻酔剤の入荷状況、デジタル化とサイバーセキュリティの状況など、活発な意見交換となった。

原議員より局所麻酔剤の状況を問われ、二村副理事長は、塗装業でのシンナー不足による休業に触れ、医療機関の現況について質問。事務局より国際情勢の不透明さや価格高騰による供給体制構築を求めた。また敷田議員より、医療機関のセキュリティ対策について問われ、藤田理事は奈良市民病院でのサイバー攻撃では対策機器が有効だったが、開業医が導入するには非常に高額と説明した。この他、敷田議員は自民県議団の働きかけにより、県議会として「医療機関が有料職業紹介事業者に支払う高額な手数料の是正を求める意見書」を国に提出したと報告。今後は、県内の医療機関が看護師確保に支払う費用の実態を把握すると述べた。藤田理事は、医療従事者の人件費に充てる費用が少なく他業種に人材が流れることが、紹介事業者を利用する原因と指摘した。


自由民主党県議団


藤田理事


立憲民主党・かながわ未来

県政

医療用資材不足時に迅速対応可能な制度訴え

立憲民主党・かながわ未来

7月14日、かながわ未来神奈川県議会議員団と県庁で懇談。県議団から石川・永井・吉川各議員が出席した。協会からは藤田理事が出席し、県政6点を求めた。

藤田理事は医療機関の窮状として、医療用グローブは購入可能だが納入価は昨年に比し約1・5倍を超え出費が増加しているとし、医療資材の整備の供給や財政補助等を訴えた。吉川議員は、今後を見据えて医療用資材の急激な不足が生じた際に国や県で機動的・迅速に対応できる制度を整える要望として受け止めたと理解を示した。また石川議員は、歯科医療機関の偏在や県民への安心な医療提供が必要と述べ、県の地域医療の格差等を質問。藤田理事は医師数が全国的に少ないことや、医院経営は患者数に左右されるため地域偏在が生じかねないと説明。医療人材の確保の困難さや高額な人材紹介料、また人口減少下での医療機関存立を支える財政措置などが話題に上った。

県政

物価高騰に窮する医療機関へ理解を示す

日本共産党

7月15日、日本共産党神奈川県議会議員団と県庁で懇談。県議団から井坂議員、党藤沢市福祉・子育て県政対策委員長として山口氏が出席した。協会からは田辺理事長、湯浅副理事長、藤田理事が出席し、県政6点を求めた。

井坂議員より、⑴診療報酬改定後の経営実態、⑵マイナ保険証のトラブル事例、⑶中東情勢下での医療機関支援ーについて問われた。⑴については、今後医療用資材が急激に不足した場合には、県の備蓄医療用資材の放出等迅速な対応を求め、理解が示された。⑵については、物価高騰には対応できていないとした。湯浅副理事長は、慢性疾患で症状安定の患者が長期処方傾向で減収だと回答。⑶について田辺理事長は、保険者の資格登録のタイムラグで正しい資格情報が反映されないこと、視覚障害者のカードリーダーの利用が困難な事例を解説した。⑶については、今後医療用資材が急激に不足した場合には、県の備蓄医療用資材の放出等迅速な対応を求め、理解が示された。


日本共産党県議団


保険医協会


井坂議員

県政

医療用手袋の放出 県の認識不足 重く受け止める

立憲民主党・かながわクラブ

7月16日、立憲民主党・かながわクラブ神奈川県議団と県庁で懇談。県議団から青山・市川・望月・須田・飯野・森田各議員他14名が出席した。協会からは二村副理事長、藤田理事が出席し、県政6点を求めた。

森田議員より、⑴今後備蓄すべき医療用資材、⑵マイナ保険証のトラブル事例ーについて質問がなされた。事務局より⑴について、開業医、特に歯科はグローブ不足が治療休止に直結するとし、中東情勢下で急激な医療用資材不足が生じた際には、県の備蓄医療用資材を迅速に放出するよう求めた。⑵については、転職等で保険者の異動手続きでタイムラグが生じること、今後はマイナカードの電子証明書の有効期限(5年)が切れ、未更新の場合はマイナ保険証が無効となり資格確認ができない事例が増加すると説明した。

飯野議員からは、県で優先すべき医療機関への支援について問われた。二村副理事長は、物価高騰には診療報酬では迅速な対応ができず、国に期中改定を求めているが、そのつなぎとして支援金などタイムリーな対応を求めた。森田議員は医療機関の窮状を理解し、グローブ放出については県の認識不足により提供できなかったことは重大な問題だとし、今後に生かしていきたいと述べた。


立憲民主党・かながわクラブ


森田議員


飯野議員

県議会会派別議員数

会派名（呼称）	人数
自民党	45
立憲民主党・かながわクラブ	21
かながわ未来	10
公明党	8
県政会・立憲神奈川ネット	4
共産党	2

会派名（呼称）	人数
日本維新の会	2
中原・高津	2
わが町	1
港南の会	1
創和会	1
翼の会	1
厚愛の会	1

※神奈川県HPを参照